

「高知県橋梁会平成25年度第2回研修会」報告

高知県橋梁会理事 森下 伸裕

土木学会四国支部と高知県橋梁会の共催による平成25年度第2回研修会を、去る2013年8月30日(金)に、高知市本町にある高知会館の「飛鳥の間」で開催した。

8月30日は第3代目会長をされた故・玉井佐一先生の命日にあたる。明日の31日には玉井先生の御霊が眠る真如寺で七回忌の法要が行われる。開会に先立ち全員で玉井先生に黙祷を捧げた。

13時30分からの研修会では、徳島大学名誉教授の望月秋利先生と会員企業で技師長をされている前田秀夫様の講演、そして東京帝国大学で廣井勇の薫陶を受けた三人の土木技師「青山士、宮本武之輔、八田與一」を紹介したビデオを上映した。非常に中身の濃い研修となった。

今年は、橋梁点検や修繕設計、道路施設点検などの影響で建設産業界はかつて経験したことがないほど多忙である。そのような中、高知県土木部や非会員にも出席いただき、参加者は65名であった。

■研修会(13:30~17:00)

25年度第2回研修会に先立ち、右城会長より、今日の講演者の方の紹介と演題内容についての説明、そして玉井佐一前会長の七回忌法要についての報告と案内があった。

最後に、10月3日に高知で開催される第9回新事業創出全国フォーラムの案内があった。



右城会長による開会の挨拶

最初の講演は、(株)第一コンサルタンツの前田秀夫氏から「橋梁よもやま話」と題し、新旧の荷重と塗装について説明があった。分かり易い資料で、A・B活荷重をイラストに置き換えた説明があった。

また、大正時代のTL-8で設計された橋でも解析すると現行の活荷重に耐えられることや、メッキ塗装しても条件の悪い環境では腐食も進むことから最近では仕様条件が変わっているとの説明があった。(13:35~14:05)



最初の講演をされる前田秀夫氏



熱心に聴講される参加者

2番目の講演は徳島大学名誉教授の望月秋利先生。「せん断強度と支持力について」と題し、砂地盤上の浅基礎の支持力実験と相似則を、先生自ら設計・製

作された遠心力模型実験装置・標点座標読み取り装置・一面せん断試験機等を用いて行われた実験、試験をリアルタイムで分かりやすく整理された資料を基に検証が困難な支持力のメカニズムについての説明があった。

また、120年の歴史ある支持力式の変遷を最初の塑性論も含めて最新の技術内容までを、詳しく写真を交えての説明があった。

望月先生は、徳島大学に赴任される前は大阪市立大学で地盤工学の分野では世界的に有名な三笠正人先生の下で研究されている。

土質力学の父と呼ばれるテルツァギー博士日の弟子にあたるあの有名なベック博士とツーショットの写真も披露された。

(14:05～15:35)



望月秋利先生による講演



質疑される右城会長

3番目は、大成建設(株)が製作したビデオ「民衆のために生きた土木技術者たち 青山士、宮本武之輔、八田與一」が上映された。鑑賞するにあたり右城会長より事前説明があった。

もた、このビデオは、ビデオの編集者の一人であり、「台湾を愛した日本人土木技師 八田與一の生涯」の著者である古川勝三先生からいただいたものであるという紹介があった。

青山士(あきら)は、東京帝国大学卒業後に渡米し、パナマ運河の建設工事にあたった。帰国後は、20世紀最大の最大事業と言われた荒川放水路の最重要難関の岩淵水門を建設した。

宮本武之輔は、信野川の流量調節を行う可動堰の工事を担当した。工事完成間近に集中豪雨があり、予想を超える増水による河川氾濫の危機に遭遇する。武之輔は村人を守るため、完成間近の堰が破壊されるのを覚悟で、仮締め切りを撤去した。見事な決断で村を守り、可動堰も1ヶ月遅れのみで完成させた。強靱な精神・使命感・責任感を兼ね備えた技術者であると感じた、

八田與一は、日本が統治していた台湾に渡り、当時東洋一の規模を誇る烏山島ダムや灌漑用水を建設し、不毛地帯であった嘉南平野を台湾一の大穀倉地帯に変えた。與一は今でも「嘉南大圳の父」と呼ばれ、台湾人から敬愛されている。5月8日の命日には烏山島ダムにつくられた與一の銅像の前で追悼式が行われている。

3人の土木技師は、いずれも東京帝国大学土木工学科で、高知出身の廣井勇教授の薫陶を受けている。

民衆の生活を守ることを使命とし、命がけで難工事を竣工させた技術力と精神力に驚く以外なにもない。現在では最も足りない、最も重要で必要なる心構えを3人の土木技術者から学んだ。

(15:45～16:55)



右城会長によるビデオの内容の説明



熱心に聴講する参加者

最後に吉田副会長から、本日の講演者の皆様へのお礼と、12月の第3回研修開催などの案内があり、第2回研修会が終了した。



吉田副会長による閉会の挨拶 (16:55~17:00)



司会を担当した森下理事

■反省会(17:30~19:30)

研修会終了後、ザ クラウンパレス新阪急高知の屋上にあるトロピカルビアガーデンに席を移し、二人の講師を囲み、橋梁会理事など関係者で研修会の反省会を行った。